



## 2019年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年3月7日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東  
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年7月期第2四半期の連結業績（2018年8月1日～2019年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第2四半期	761	△35.8	△397	—	△399	—	△304	—
2018年7月期第2四半期	1,184	67.0	△221	—	△205	—	△344	—

(注) 包括利益 2019年7月期第2四半期 △316百万円 (—%) 2018年7月期第2四半期 △360百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第2四半期	△37.75	—
2018年7月期第2四半期	△42.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期第2四半期	4,209	2,881	68.5	356.99
2018年7月期	3,835	3,197	83.4	396.15

(参考) 自己資本 2019年7月期第2四半期 2,881百万円 2018年7月期 3,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年7月期	—	0.00	—	—	—
2019年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年7月期の連結業績予想（2018年8月1日～2019年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	11.3	△150	—	△148	—	△168	—	△20.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年7月期2Q	9,562,000株	2018年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2019年7月期2Q	1,491,070株	2018年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年7月期2Q	8,070,984株	2018年7月期2Q	8,071,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年7月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、世界的に多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスが普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、LTE-Advanced Proや第5世代(5G)通信方式の商用化へ向けた実証実験も開始され、IoT(Internet of Things)を活用した新たなサービスの実現に向けての研究も行われております。海外におきましても、LTE-Advancedサービスが開始されており、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、モバイル端末の普及、高速化により、ブロードバンドサービスが定着し、ビデオストリーミング等を中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や研究開発投資の需要が見込まれる一方で、通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、サービスの低価格傾向は定着しており、通信事業者及び通信機器メーカーの投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
- (iii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 583,651千円(前年同期比45.6%減)

当セグメントの売上高は、583,651千円となりました。移動体通信市場におきましては、第5世代(5G)通信方式の商用化に向けた実証試験が始まっており、当社の顧客である通信事業者及び通信機器メーカーも、当社と同様に現行世代のLTE-Advanced Proと5Gの開発投資を同時に行う状況のため、非常に厳しい投資姿勢が継続しております。第1四半期におきまして5Gに対応する基地局向け研究開発用テストシステムを受注することができましたが、納入時期の本格化は第3四半期以降となるため、当第2四半期におきましては、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proの研究開発用途向けテストソリューションの国内及び海外向け販売が前年同期比で大幅に減少した結果、前年同期比で大幅な減収となりました。

セグメント損益につきましては、前年同期比での売上の減少に加え、5G向けの研究開発費が前期に引き続き高水準で推移した結果、334,511千円の営業損失(前年同期は営業損失40,767千円)となりました。

(IPネットワークソリューション) 177,448千円(前年同期比57.3%増)

当セグメントの売上高は、177,448千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で増加した結果によるものです。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に増加したことに加え、販売費及び一般管理費が減少した結果、63,420千円の営業損失(前年同期は営業損失180,294千円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高761,099千円(前年同期比35.8%減)、営業損失397,932千円(前年同期は営業損失221,062千円)、経常損失399,763千円(前年同期は経常損失205,369千円)となりました。当連結会計年度の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額を96,650千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失304,712千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失344,997千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,872,305千円であり、前連結会計年度末に比べ325,624千円増加いたしました。受取手形及び売掛金が119,742千円減少した一方で、現金及び預金が497,176千円、有価証券が136,415千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,336,853千円であり、前連結会計年度末に比べ47,866千円増加いたしました。投資有価証券が144,860千円減少した一方で、繰延税金資産が96,819千円、ソフトウェアが64,663千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,156,320千円であり、前連結会計年度末に比べ699,995千円増加いたしました。短期借入金が900,000千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は171,594千円であり、前連結会計年度末に比べ10,430千円減少いたしました。長期借入金が10,500千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,881,244千円であり、前連結会計年度末に比べ316,074千円減少いたしました。利益剰余金が304,712千円減少したことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による支出286,592千円、投資活動による支出104,507千円、財務活動による収入889,255千円により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は1,588,929千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失399,763千円に対し、減価償却費107,213千円、売上債権の減少額118,950千円、仕入債務の減少額207,785千円、未収消費税等の減少額108,288千円等があった結果、営業活動によって減少した資金は286,592千円(前年同期は309,014千円の支出)となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出49,190千円、無形固定資産の取得による支出55,055千円等があった結果、投資活動によって減少した資金は104,507千円(前年同期は30,066千円の支出)となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出10,500千円等があった一方で、短期借入金の増加額900,000千円があった結果、財務活動によって増加した資金は889,255千円(前年同期は39,918千円の収入)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年9月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,091,752	1,588,929
受取手形及び売掛金	592,534	472,792
有価証券	—	136,415
商品及び製品	547,385	471,563
仕掛品	13,559	11,733
原材料及び貯蔵品	182,489	173,894
その他	118,959	16,976
流動資産合計	2,546,681	2,872,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	230,929	225,250
工具、器具及び備品(純額)	327,939	385,297
土地	16,794	16,794
有形固定資産合計	575,663	627,342
無形固定資産	59,462	104,655
投資その他の資産		
投資有価証券	469,760	324,900
その他	184,101	279,954
投資その他の資産合計	653,861	604,854
固定資産合計	1,288,987	1,336,853
資産合計	3,835,669	4,209,159
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	281,175	72,324
短期借入金	—	900,000
1年内返済予定の長期借入金	21,000	21,000
未払法人税等	11,681	11,198
賞与引当金	28,367	38,519
その他	114,101	113,277
流動負債合計	456,324	1,156,320
固定負債		
長期借入金	168,500	158,000
資産除去債務	13,524	13,594
固定負債合計	182,024	171,594
負債合計	638,349	1,327,914
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	963,774	659,061
自己株式	△505,530	△505,593
株主資本合計	3,321,339	3,016,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△133,620	△142,919
為替換算調整勘定	9,600	7,601
その他の包括利益累計額合計	△124,019	△135,318
純資産合計	3,197,319	2,881,244
負債純資産合計	3,835,669	4,209,159

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年8月1日 至2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)
売上高	1,184,960	761,099
売上原価	404,985	338,673
売上総利益	779,974	422,425
販売費及び一般管理費	1,001,036	820,358
営業損失(△)	△221,062	△397,932
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,533	2,225
為替差益	7,063	—
投資有価証券売却益	5,086	—
未払配当金除斥益	591	745
その他	723	654
営業外収益合計	15,999	3,625
営業外費用		
支払利息	281	1,165
為替差損	—	4,220
その他	25	71
営業外費用合計	306	5,457
経常損失(△)	△205,369	△399,763
税金等調整前四半期純損失(△)	△205,369	△399,763
法人税、住民税及び事業税	15,724	1,600
法人税等調整額	123,903	△96,650
法人税等合計	139,628	△95,050
四半期純損失(△)	△344,997	△304,712
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△344,997	△304,712

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
四半期純損失(△)	△344,997	△304,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,035	△9,299
為替換算調整勘定	6,073	△1,999
その他の包括利益合計	△15,962	△11,298
四半期包括利益	△360,959	△316,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360,959	△316,011
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△205,369	△399,763
減価償却費	107,176	107,213
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,329	10,152
受取利息及び受取配当金	△2,533	△2,225
支払利息	281	1,165
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,086	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,333	118,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△381,525	△21,373
仕入債務の増減額(△は減少)	171,800	△207,785
未収消費税等の増減額(△は増加)	△24,262	108,288
その他	△10,144	2,141
小計	△356,668	△283,237
利息及び配当金の受取額	1,510	1,202
利息の支払額	△281	△1,165
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	46,425	△3,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	△309,014	△286,592
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△112,429	△49,190
無形固定資産の取得による支出	△19,354	△55,055
投資有価証券の売却による収入	103,156	—
その他	△1,439	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,066	△104,507
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	900,000
長期借入れによる収入	120,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△10,500
自己株式の取得による支出	—	△63
配当金の支払額	△80,081	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,918	889,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,188	△977
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△305,351	497,176
現金及び現金同等物の期首残高	2,188,984	1,091,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,883,632	1,588,929

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年8月1日至2018年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,072,141	112,818	1,184,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,072,141	112,818	1,184,960
セグメント損失(△)	△40,767	△180,294	△221,062

(注)セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2019年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	583,651	177,448	761,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	583,651	177,448	761,099
セグメント損失(△)	△334,511	△63,420	△397,932

(注)セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。